

I 策定趣旨及び期間 >>>	【策定の趣旨】本ビジョンは、中長期的な視点から、取組の方向性等を明らかにし、文化芸術の振興を図る施策を効果的に展開するために策定する。	【計画期間】令和8年度～令和11年度（4年間） ※文化芸術基本法における「地方文化芸術推進基本計画」として位置付ける。
----------------	---	--

II 第4期ビジョン策定の基本目標及び体系等 >>>

基本目標 県民が文化芸術を存分に楽しみ、彩り豊かな秋田の魅力を紡ぎ出す

成果指標（全体指標）	○文化芸術を鑑賞している人の割合 R7実績値 61.6% → R11目標値 70.0%	○文化芸術活動を行っている人の割合 R7実績値 23.9% → R11目標値 30.1%
------------	--	---

施策1 県民が文化芸術に親しむ機会の充実	施策2 文化芸術活動による秋田の魅力の磨き上げ	施策3 文化の継承と次代を担う人材の育成
<p><u>方向性1 文化芸術を鑑賞・体験する機会の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミルハスやアトリオン音楽ホールの特長に応じた各種公演等の開催・誘致 ・大学等と連携して行うアウトリーチの実施 等 <p><u>方向性2 文化芸術活動への参加機会の確保と活動促進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術事業への助成や後援の実施 ・地域で活動する団体等によるアウトリーチ活動の多面的な展開の支援 等 <p><u>方向性3 県内公立文化施設の利用促進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋田県公立文化施設協議会や秋田県博物館等連絡協議会の活動を通じた連携強化 ・美術館・博物館の収蔵資料のデジタル化を推進 等 <p>成果指標（施策1） ○文化芸術イベントへの参加者数（県関与分） R6実績値 403,173人 → R11目標値 430,000人</p>	<p><u>方向性1 文化芸術活動の顕彰等による創作活動の促進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募型事業の実施を通じた創作・表現活動の意欲や技量の向上促進 ・各種表彰制度による文化芸術分野における優れた活動や作品の顕彰 等 <p><u>方向性2 秋田の文化芸術の魅力発信</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ブンカDEゲンキチャンネル」での動画等の配信を通じた本県の文化芸術の魅力の効果的な発信 ・動画投稿サイトやSNSの活用等により本県の文化芸術の魅力発信に寄与している団体の活動への助成 等 <p><u>方向性3 文化芸術による交流人口・関係人口の拡大</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外からの誘客を図る民間団体の取組への助成 ・劇団の県外公演を活用した本県の魅力の発信 等 <p>成果指標（施策2） ○「ブンカDEゲンキチャンネル」投稿動画の年間視聴回数 R6実績値 114,866件 → R11目標値 200,000件</p>	<p><u>方向性1 文化芸術を担う人材や若手アーティストの育成と発表の場の創出</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な分野の若手アーティスト等への実績創出の伴走支援や実践的な手法による担い手育成の取組 ・若手アーティスト等の活動を支える基盤づくりに向けたサポート体制の構築 等 <p><u>方向性2 学校における文化芸術活動・体験の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における音楽・美術分野のアウトリーチの実施による文化芸術活動・体験の機会の提供 ・美術館・博物館のセカンドスクールの利用の推進 等 <p><u>方向性3 文化遺産の保存・活用の推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光分野と連携したユネスコ無形文化遺産や世界文化遺産等の価値や魅力の発信 ・保存団体や大学、劇団等と連携した民俗芸能・伝統芸能の継承を目的とした事業の実施 等 <p>成果指標（施策3） ○支援や育成の取組の対象となった若者・若手アーティストの数 R6実績値 15人 → R11目標値 20人 ○国・県指定等文化財の件数 R6実績値 825件 → R11目標値 836件</p>
  	  	  

III 進行管理 >>>	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎年度の施策の達成状況については、上記指標による定量的評価によって測定 ● 個別事業の有効性や効率性といった質的な側面については、大学生などで構成する外部評価チームによる定性的評価によって測定
--------------	---

IV 今後の予定 >>>

12月	R 8年1月	2月	3月
◎県議会(素案) ◎パブリックコメント(～1月)		◎県議会(案)	◎公表